社会資本総合整備計画（第1回変更）

秩父鉄道行田市駅周辺地区

平成29年7月21日

埼玉県行田市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成29年7月21日

計画の名称	1　秩父鉄道行田市駅周辺地区都市再生整備計画			重点配分対象の該当	
計画の期間	平成27年度　～　平成31年度　(5年間)	交付対象	埼玉県行田市		

計画の目標

大目標　：行田らしさを活かした街なみ景観と賑わいの創出による中心市街地の活力増進
小目標①：忍城址や足袋蔵などの歴史的資源が持つ魅力を活かした個性あるまちづくりの推進
小目標②：まちなかの活性化促進に向けた、人々を市街地へ誘導し回遊させる仕組みづくり
小目標③：都市機能の充実による市民が心豊かで快適に暮らせるまちづくりの推進

計画の成果目標（定量的指標）

・まちづくり活動への参加希望率　48.1%(H21) →　70.0%(H32)
・街なみ満足度　32.0%(H21) →　45.0%(H32)
・中心市街地の人口減少率　-5.6%(H22) →　-2.8%(H32)
・地区内観光客入込数　350,000人(H25) →　450,000人(H32)

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H21・22・25)	中間目標値	最終目標値 (H32)	備考
『第5次行田市総合振興計画』における「住みよい行田をつくるための地域活動に参加したいと考えている市民の割合」	48.1%		70.0%	
『第5次行田市総合振興計画』における「歴史や文化との調和を感じている市民の割合」	32.0%		45.0%	
国勢調査による行田地区及び忍地区の人口減少率	-5.6%		-2.8%	
地区内施設及びイベントにおける観光客入込数	350,000人		450,000人	

全体事業費	合計 (A＋B＋C＋D)	320.9百万円	A	320.9百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A＋B＋C＋D)	0.0%

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
1-A-1	都市再生	一般	行田市	直接	行田市	秩父鉄道行田市駅周辺地区都市再生整備計画	ILB舗装、せせらぎ水路、遊歩道など	行田市						320.9			
								合計						320.9			

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
								合計									

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	備考
								合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	備考
								合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

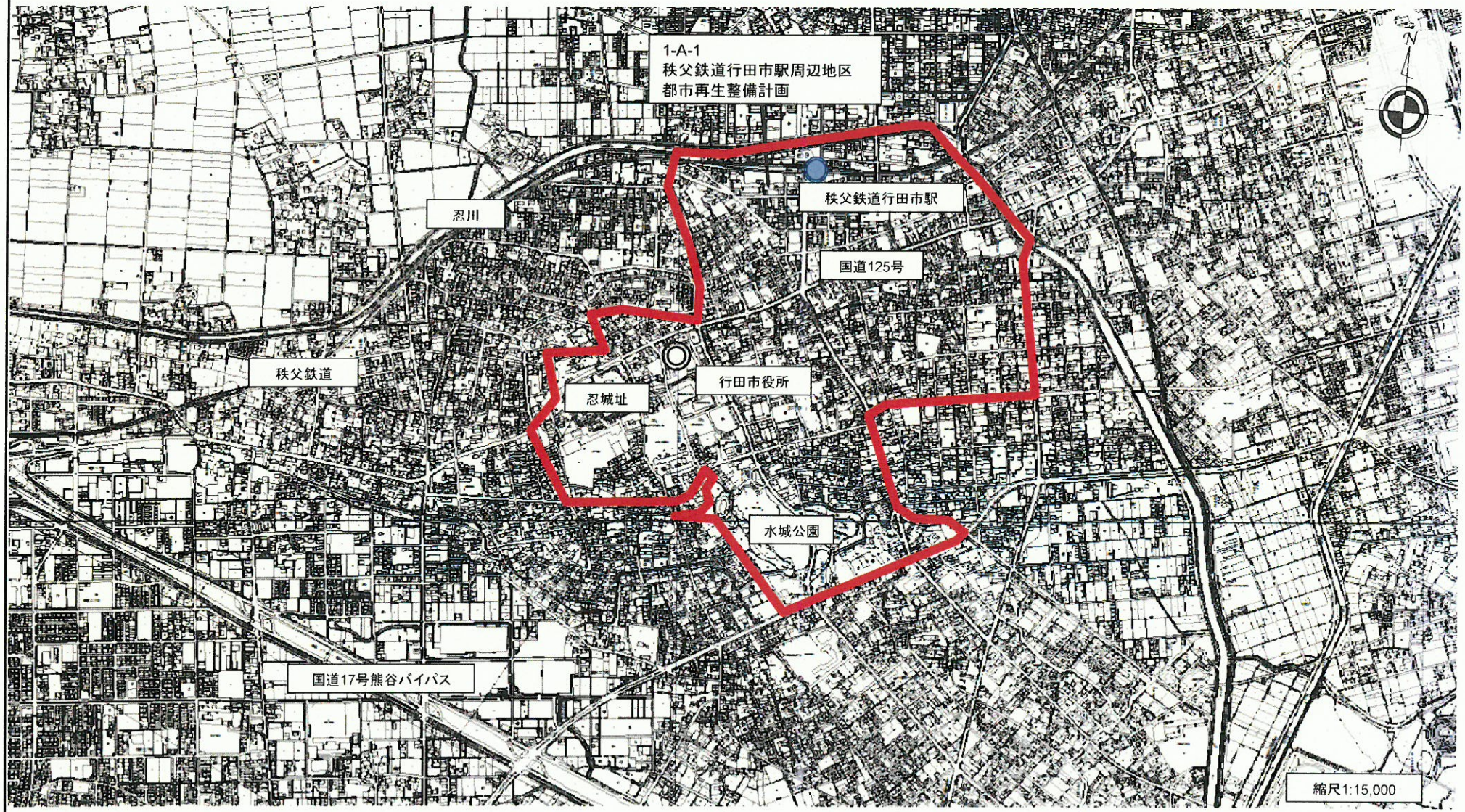
（単位：百万円）

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	31	25.2			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	31	25.2			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	31	25.2			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

※　平成２７年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金　市街地整備）

計画の名称	1　秩父鉄道行田市駅周辺地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成27年度　～　平成31年度　（5年間）	交付対象	埼玉県行田市



都市再生整備計画（第1回変更）

秩父鉄道行田市駅周辺地区

埼玉県　行田市

平成29年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	行田市（ぎょうだし）	地区名	秩父鉄道行田市駅周辺地区（ちちぶてつどうぎょうだしえきしゅうへんち く）	面積	110 ha

計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

目標

大目標：行田らしさを活かした街なみ景観と賑わいの創出による中心市街地の活力増進
小目標① ：忍城址や足袋蔵などの歴史的資源が持つ魅力を活かした個性あるまちづくりの推進
小目標② ：まちなかの活性化促進に向けた、人々を市街地へ誘導し回遊させる仕組みづくり
小目標③ ：都市機能の充実による市民が心豊かで快適に暮らせるまちづくりの推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本市は、埼玉県北部に位置する人口約8万5千人の都市である。市域のほぼ全域が利根川と荒川の沖積平野となっており、忍川や星川をはじめとした河川が縦横に流れ、肥沃な土壌の穀倉地帯を形成しているとともに、武蔵水路や見沼代用水といった導水路の起点となるなど、首都圏の水供給における要衝として、また水と緑の豊かな田園都市として発展を遂げてきた。また、国指定史跡である「埼玉古墳群」や、埼玉県指定旧跡である「忍城址」、かつて生産量日本一となった足袋産業を象徴する建築物である足袋蔵などの歴史的遺産が数多く残され、近年では映画「のぼうの城」の公開により全国的な知名度が高まるなど、歴史・文化都市としてもその名を知られている。

市の中心部に位置する本地区は、中世・近世においては政治経済の中心として、現代においては中心市街地として位置付けられており、市役所や埼玉県行田地方庁舎をはじめとした公共・公益施設が立地する業務地区や、忍城址、足袋蔵、水城公園などの歴史と文化、水と緑の地域資源を内包する、市の顔と呼ぶにふさわしい地区である。

平成25年度からは、行田ならではの街なみ景観の創出を図るため、市民や市民団体等が主体となって行う足袋蔵等の歴史的建築物の改修事業などを支援する「ふるさとづくり事業」により、本市の持つ地域資源を有機的且つ有効的に整備・利活用するなど独自のまちづくりを進めた結果、実施箇所周辺においては徐々に整備効果が表れはじめ、行き交う人の数が増加するなど、一定の成果を挙げている。また、個性的で豊かなまちづくりの実現に向け、まちづくりの主体者の顔が見える「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」を策定し、行田らしい魅力ある街なみの形成や、賑わいなど活力の創出に向けた取組みの第一歩をスタートしたところである。

課題

・まちづくり活動に対する市民意識の低さと活動団体間の連携不足
・空き店舗や空き地の増加に伴う商店街の活力・魅力の低下
・忍城址や足袋蔵など豊富に存在する歴史・文化的資源の点在による一体感の不足
・若年層の人口流出や流入人口の低減による定住人口の減少
・発着拠点における観光案内機能の不足

将来ビジョン（中長期）

【第5次行田市総合振興計画】(平成23年3月)
中心市街地に相応しい活気と魅力ある街なみを創出するため、行田らしい景観を活かした都市基盤整備を進めるとともに、市民、企業、NPOなどと連携したまちづくりに取り組む。また、市内に残る多くの地域資源を保全するための保全意識の向上を図る。

【行田市都市計画マスタープラン】(平成25年3月)
必要な都市機能を中心市街地などの都市拠点に集約し、だれもが歩いて暮らせる、安全で暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、農村集落地での生活利便性を向上し、これらを結ぶ道路・公共交通ネットワークなどの更なる充実により、各地域が連携した都市づくりを目指す。また、歴史的な街なみ景観、平坦な地形を活かした美しい水辺環境や自然景観の形成により、歴史や自然の薫りが漂うまちづくりを進める。なお、当該地区は都市機能を集約する都市拠点として位置付けられている。

【行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画】(平成26年3月)
地域のまちづくり意識の醸成を図り、市民が主体となったまちづくりを進め、住みやすく、過ごしやすい地域へと発展させるなど、市民との連携・協働を強化した効果的なまちづくりに取り組む。また、“暮らし”と“交流”をつなげることで、市民と来訪者の双方が満足できる賑わいの創出を図る。

【行田市景観形成基本計画】(平成11年3月)
行田らしい住み良さの基調となっている、のびやかでやすらぎ感のある風景、便利さや活力・賑わいといった都市的な風景、誇れる歴史の風景が全体として調和（バランス）した、住み人にとっても訪れる人にとっても『やすらぐ都市風景』をつくる。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちづくり活動への参加希望率	%	住み良いまちをつくるための地域活動に参加したいと考えている市民の割合	官民連携により、市民が主体となり地域を育てるまちづくりを推進し、もてなしの心の醸成と豊かな暮らしの実現を図る	48.1	H21	70.0	H32
街なみ満足度	%	歴史や文化との調和を感じている市民の割合	まちの魅力を高め、にぎわいの創出につなげるため、個性あふれる街なみづくりを推進する	32.0	H21	45.0	H32
中心市街地の人口減少率	%	行田地区及び忍地区の人口減少率	集約連携型の都市構造の実現を図るため、まちなか居住人口の減少に歯止め、もしくは維持を図る	-5.6	H22	-2.8	H32
地区内観光客入込数	人	地区内施設及びイベントにおける観光客入込数	観光案内機能を強化することにより、人々を市街地へ誘導・回遊させ、交流人口を増加させる	350,000	H25	450,000	H32

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1　市民が主体となり地域を育てるまちづくりを推進し、まちづくり活動への参加者を増加させる ・本市特有の歴史的・文化的資源を活用し、質の高い街なみ景観の創出を図り、個性的なまちづくりを展開する。 ・行政主導のまちづくりから市民主体のまちづくりへの転換を図り、まちづくりに対する市民意識の醸成とまちづくり組織の立上げを促進する。 ・緑化活動や清掃活動など、市民参加を促進する。	【基幹事業】 高質空間形成施設：市道第5.3-298号線外9路線 歴史的街路整備事業 【提案事業】 まちづくり活動推進事業：地域まちづくり活動支援事業
整備方針2　歴史と文化の薫りが漂う歩きたくなる街なみを創出し、快適性、回遊性、利用者の満足度の向上を図る ・忍城址周辺の回遊性の向上に向け、「浮き城のまち」にふさわしい街なみを創出する。 ・観光案内機能の充実により、回遊利便性の向上を図る。	【基幹事業】 高質空間形成施設：都市計画道路常盤通佐間線沿道文化ゾーン整備事業 高次都市施設：行田市バスターミナル観光案内所整備事業
整備方針3　暮らしと交流が調和したまちづくりを推進し、中心市街地の人口減少に歯止めをかけ、定住人口の維持を図る ・市民が暮らしやすいような都市機能の充実、訪れる人の興味・関心を引く仕掛けづくり、点在する地域資源を回遊させる仕組みづくりを行い、中心市街地の空洞化に歯止めをかける。 ・歩く楽しさや休憩スポットといった幅広い世代に受け入れられる事業を展開し、住みやすく、訪れやすい環境を創出する。	【基幹事業】 地域生活基盤施設：街なかサイン整備事業

その他

様式3　目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	320.9	交付限度額	128.3	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路															
道路（都市再構築戦略事業）															
公園															
公園（都市再構築戦略事業）															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		街なかサイン整備事業	行田市	直	37基	H27	H31	H27	H31	11.7	11.7	11.7		11.7	－
高質空間形成施設		市道第5.3-298号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=130m	H27	H27	H27	H27	21.4	21.4	21.4		21.4	－
高質空間形成施設		市道第5.3-303号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=63m	H27	H27	H27	H27	3.8	3.8	3.8		3.8	－
高質空間形成施設		市道第5.3-304号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=115m	H28	H28	H28	H28	20.7	20.7	20.7		20.7	－
高質空間形成施設		市道第5.3-306号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=100m	H27	H27	H27	H27	21.7	21.7	21.7		21.7	－
高質空間形成施設		市道第5.3-308号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=46m	H27	H27	H27	H27	2.8	2.8	2.8		2.8	－
高質空間形成施設		市道第5.3-310号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=73m	H28	H28	H28	H28	10.4	10.4	10.4		10.4	－
高質空間形成施設		市道第6.3-185号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=275m	H29	H30	H29	H30	74.9	74.9	74.9		74.9	－
高質空間形成施設		市道第6.3-158号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=120m	H31	H31	H31	H31	14.0	14.0	14.0		14.0	－
高質空間形成施設		市道第6.3-164号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=65m	H31	H31	H31	H31	12.6	12.6	12.6		12.6	－
高質空間形成施設		市道第6.3-186号線 歴史的街路整備事業	行田市	直	L=50m	H27	H27	H27	H27	3.5	3.5	3.5		3.5	－
高質空間形成施設		都市計画道路栄盛通佐間線沿道文化ゾーン整備事業	行田市	直	L=250m	H28	H30	H28	H30	65.0	65.0	65.0		65.0	－
高次都市施設		行田市バスターミナル観光案内所整備事業	行田市	直	A=150.7㎡	H27	H27	H27	H27	58.0	58.0	58.0		53.0	－
中心拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
既存建造物活用事業（中心拠点誘導施設）															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										320.5	320.5	320.5	0.0	315.5	1.7 …A

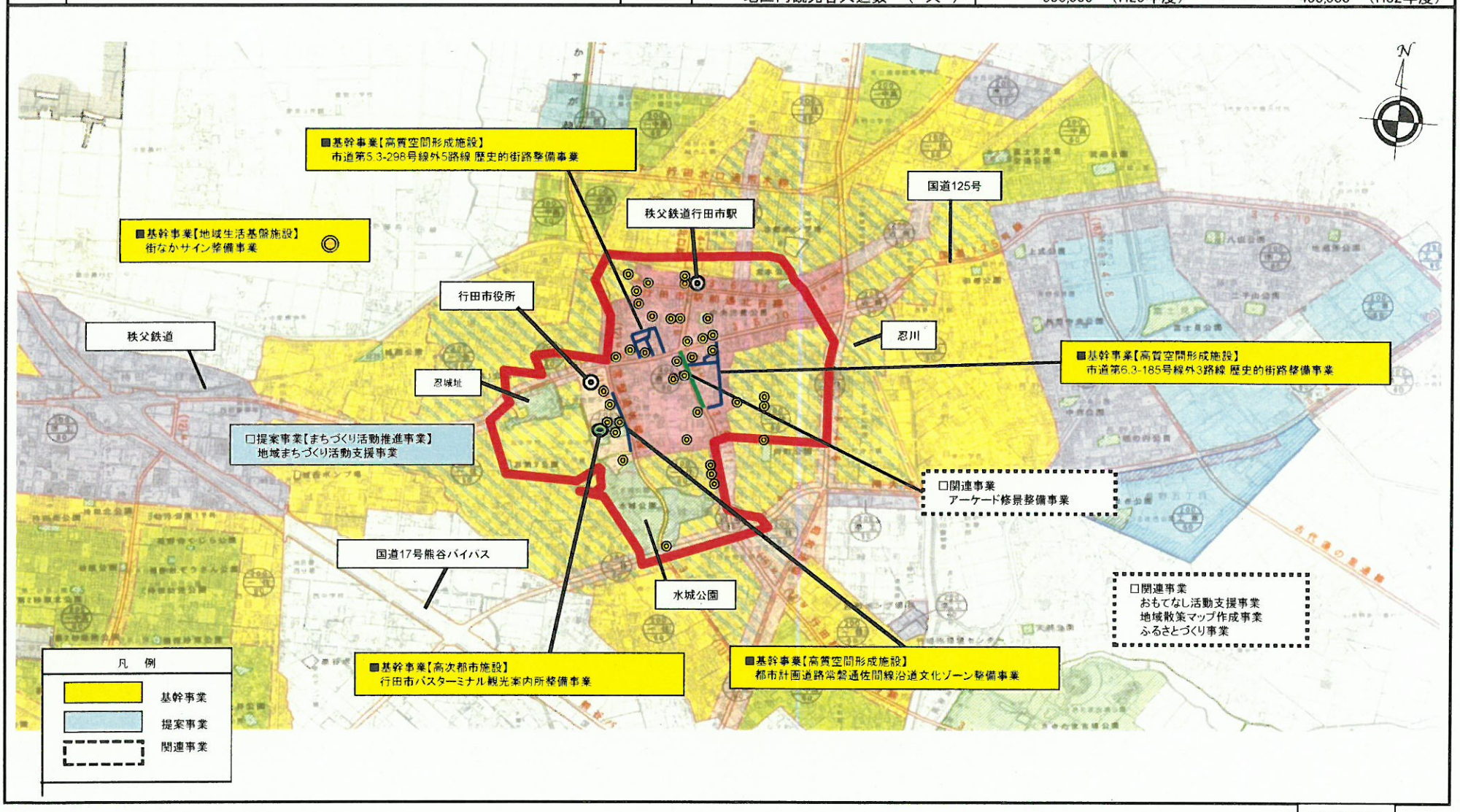
統合したB／Cを記入してください

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業														
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業		地域まちづくり活動支援事業	行田市・ものつくり大学・各商店街・自治会等	直・間		H27	H31	H27	H31	5.4	5.4	5.4	0.0	5.4
合計										5.4	5.4	5.4	0.0	5.4 …B
													合計(A+B)	320.9

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
	おもてなし活動支援事業	行田観光ボランティア					○		H28	H31	0.4
	地域散策マップ作成事業	行田市					○		H28	H31	2.0
	アーケード修景整備事業	行田市	中小企業庁			○			H30	H31	15.2
	ふるさとづくり事業	行田市					○		H25	－	－
合計											17.6

秩父鉄道行田市駅周辺地区（埼玉県行田市） 整備方針概要図

目標	行田らしさを活かした街なみ景観と賑わいの創出による中心市街地の活力増進	代表的な指標	まちづくり活動への参加希望率 （ % ）	48.1	（H21年度）	→	70.0 （H32年度）
			街なみ満足度 （ % ）	32.0	（H21年度）	→	45.0 （H32年度）
			中心市街地の人口減少率 （ % ）	-5.6	（H22年度）	→	-2.8 （H32年度）
			地区内観光客入込数 （ 人 ）	350,000	（H25年度）	→	450,000 （H32年度）